



9月のきららだよ!



まだまだ暑い日が続いていますが、時折吹く風に秋の香りを感じるとほっとします。夏の疲れが出てくる頃なので健康面に注意して規則正しい生活を心がけましょう。そして体調を整えて元気に遊びに来てくださいね。

2019年 8月
地域子育て支援センター
(美園保育園内)
Tel・Fax 0276(72)2117



メールアドレス: misono.shien@city.tatebayashi.gunma.jp

月	火	水	木	金	土
2 きらら広場 ★	3 サークル (おひるねアート サークル)	4 年齢別1~3歳児 牛乳パックの 小物入れ作り (H27. 4. 2~ H30. 4. 1生まれ)	5 年齢別0歳児 牛乳パックの 小物入れ作り (H30. 4. 2~ 生まれ)	6 ※要申込み 育児講座 (絵本の読み聞かせに ついて)	7
9 きらら広場 ★	10 サークル (暴れん坊)	11 きらら広場 (総合避難訓練) ◎消防車を見よう ★	12 サークル (てづくり さーくる)	13 きらら広場 (お絵描きを しよう) ★	14
16 敬老の日	17 ※要申込み バッグ作り (デコパージュを しよう)	18 手形アート	19 ※要申込み たぬきサロン (キャンディガラガラお もちゃ)	20 きらら広場 ★	21
23 秋分の日	24 きらら広場 ★	25 きらら広場 (絵本で遊ぼう) ★	26 手形アート	27 サークル (クローバー)	28
30 きらら広場 ★	25日(水) 「絵本で遊ぼう」 親子で絵本にふれて 遊びましょう。担当 による大型絵本の読 み聞かせをします。				

「きらら」からのお知らせ

- ★支援センター『きらら』の利用時間は、
9:30~12:30
13:30~16:30 です。
- ★『きらら広場』
9:30~11:30 です。
※対象 市内在住の方で登録制です。(随時受付 無料)
- ★11:30以降は『あそびの広場』(月曜日~金曜日)になります。
※市外の方も利用できます。
11:30~12:30は、お弁当を持ってきて食べられます。
- ★子育て相談
随時行っています。電話・メールも受け付けます。ひとりで悩まずに
気軽に声をかけてください。また、遊びに来たいけれど家からで
られない方は、お家に訪問して育児の悩みを聞いたり遊び方のア
ドバイスも行いますので御連絡ください。
- ★身体測定
随時できますので、希望される方は声をかけてください。
- ★絵本の貸出し
ひとり2冊まで2週間貸出しをします。



9月の年齢別の日



- 4日(水) 1・2・3歳児
(H27. 4. 2~
H30. 4. 1生まれ)
- 5日(木) 0歳児
(H30. 4. 2~生まれ)

9月の年齢別は
『牛乳パックの小物入れ作り』です。
お子さんの大好きなキャラクターの
小物入れを作りますので、是非参加
してくださいね。

手形アートの日

18日(水)・26日(木)です。

どちらか都合の良い日の10:45頃
までに来てください。

〈育児講座・学びの集い〉

【絵本の読み聞かせについて】

- ・日時 9月6日(金) 10:30~11:30
- ・場所 美園保育園支援センター
- ・対象 市内在住の親子
- ・内容 子育てや絵本の読み聞かせについての講話
- ・定員 12組
- ・講師 赤坂 晴代さん
- ・持ち物 水分補給用飲物
- ・申込み 8月9日(金) 9:30~
美園保育園支援センター
☎72-2117



〈たぬきサロン〉

妊婦さんを対象としたサロンです。妊婦さん同士で出産についての話しをしたり、生まれてくる赤ちゃんのためにちょっとしたベビー用品を作ってみませんか。手作りの物は、愛着があつて温かみがありますよ。

- ・日時 9月19日(木) 10:00~11:30
- ・場所 美園保育園支援センター
- ・対象 妊婦さん(里帰り出産の方も含む)
生後4か月までのママ
- ・内容 キャンディガラガラおもちゃ作り
交流会など
- ・申込み 8月9日(金) 9:30~
美園保育園支援センター
☎72-2117



〈バッグ作り〉 【デコパージュをしよう】



- ・日時 9月17日(火)
- ・内容 デコパージュをしてオリジナルのバッグを作ります。
- ・定員 10組
- ・持ち物 水分補給用飲物
- ・申込み 美園保育園支援センター(先着順)

※デコパージュとは…
自分の好きな紙を切って様々な
素材に貼りつける技法のこと。



消防車を見よう

美園保育園の総合避難訓練に参加して、消防車の見学をしませんか？
写真撮影もできます。

- ・日時 9月11日(水) 10:00~



★新しいサークルの紹介

9月10日からストレッチや体操をするサークル『暴れん坊』の活動が始まります。
興味のある方は声をかけてください。



子どもの夏の疲れ

夏の暑さは大人以上にこたえます。子どもは大人のように体の不調を言葉で正確に表現できません。大人が察知し、早めに対処することが大切です。子どもは体調を崩すと症状の悪化が急激に進むことがあります。日頃から体調の変化に気を配りましょう。

大人に比べ、子どもの汗腺は未発達です。また、熱を発散させる機能が十分でないので体の中に熱がこもり、ぐったりする症状がみられるでしょう。暑い時は、汗をかいて体温を調節するのが本来の機能。それがうまくできないことが夏バテを引き起こしてしまいます。エアコンの設定温度にも注意してくださいね。

冷たいものばかりでなく栄養の偏りが無い食事を摂りましょう。ビタミンB1とB6が必要不可欠です。ジュースやアイスなどばかりではビタミンが摂取できません。栄養はバランス良く摂って体調を整えておきましょう。



※支援センターの毎月の予定が市のホームページからみられます。御利用ください。